

## 遠野駅舎の未来を考える会情報共有資料

### 1. JRの遠野駅舎の取り扱い方針

- ① 現駅舎は耐震上の問題から解体し、その後3分の1規模の新駅舎の建設を検討。
- ② フォルクローロ遠野（ホテル）は平成27年3月中に閉鎖。（H27.3.14閉鎖）

#### ※ 遠野駅舎の存在感

1914年(大正3年)、遠野駅が岩手軽便鉄道の開通と同時に開業。1950年(昭和25年)に建てられた現駅舎は、ヨーロッパの建築様式を取り入れた硬質コンクリートブロック造り。2002年(平成14年)、東北の駅百選に選定された。

### 2. 遠野駅舎の現状と課題

- ① 重厚な赴きある外観の駅舎は、市民はもとより観光客から評判が高く親しまれている。
- ② 駅舎を中心市街地活性化のシンボルとして街並み景観を整備してきた。
- ③ 駅前は、駅舎と旅の蔵・あすもあ遠野が一体で遠野の風情を形成している。
- ④ 現在作成中の第2期中心市街地活性化基本計画（本庁舎整備・駅前通り再整備等）において現駅舎の存在は欠かせない。
- ⑤ 遠野駅乗客数は平成25年1日あたり326人と減少傾向にある。
- ⑥ 駅員4名。びゅう窓口閉鎖等により体制縮小。
- ⑦ 現駅舎にJR側で耐震補強を施すと新築並みの費用がかかる。
- ⑧ 駅の北側と南側の接続が課題となっている。
- ⑨ 駅構内のバリアフリー化(エレベーター・エスカレーター整備)が課題となっている。
- ⑩ 駅前ロータリーの逆走防止対策が課題となっている。



中心市街地の核施設である「遠野駅舎」を今後どのようにしていけばよいか皆さんと共に考えていきましょう！！！！

